

調査結果の概要

I 賃金の動き

1) 調査産業計の状況（表1参照）

規模5人以上の事業所では、1人平均月間現金給与総額は287,243円、その名目賃金指数（「指数は平成27年=100」以下同様）は101.9（前年比2.2%増）となり、2年ぶりの増加となった。そのうち、きまって支給する給与は239,962円（前年比1.3%増）、特別に支払われた給与は47,281円（前年差2,135円増）であった。

きまって支給する給与のうち、所定内給与は、225,471円（前年比1.5%増）であり、所定外給与は、14,491円（前年差49円増）であった。

うち規模30人以上の事業所では、1人平均月間現金給与総額は316,029円、その名目賃金指数は102.0（前年比0.9%増）となり、5年連続の増加となった。そのうち、きまって支給する給与は260,374円（前年比0.4%増）、特別に支払われた給与は55,655円（前年差864円増）であった。

きまって支給する給与のうち、所定内給与は、241,860円（前年比0.4%増）であり、所定外給与は、18,514円（前年差132円増）であった。

また、規模5人以上の事業所の1人平均月間現金給与総額の実質賃金指数は101.1（前年比1.4%増）で、2年ぶりの増加となり、うち規模30人以上の事業所では、1人平均月間現金給与総額の実質賃金指数は101.2（前年比0.1%増）で、3年連続の増加となった。

図1-1 賃金指数（現金給与総額）の推移—名目賃金指数・実質賃金指数—

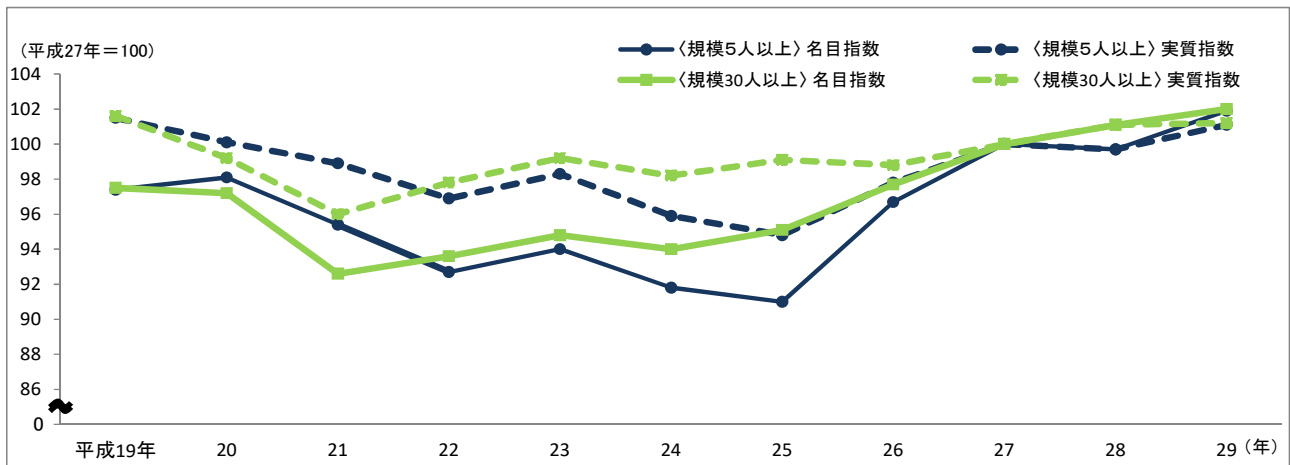
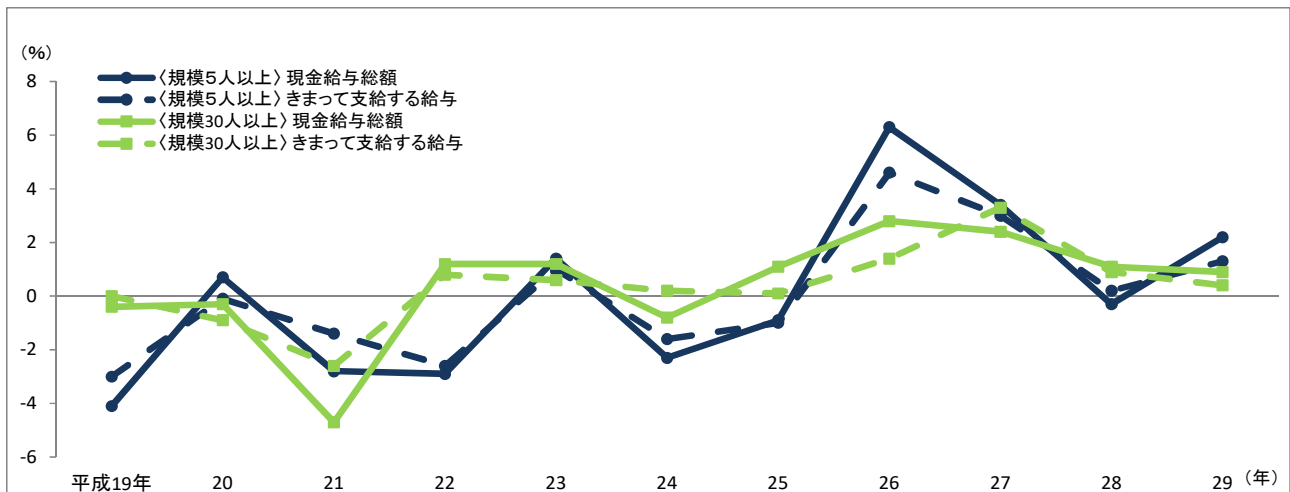


図1-2 賃金指数の推移—現金給与総額及びきまって支給する給与の前年増減率—



2) 産業別の状況

・現金給与総額（統計表 1－1 参照）

現金給与総額を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは電気・ガス業等で 547,402 円となり、その名目賃金指数は 102.6（前年比 3.8%減）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 122,324 円となり、その名目賃金指数は 90.2（前年比 1.7%減）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 575,981 円となり、その名目賃金指数は 100.2（前年比 1.6%減）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 134,518 円となり、その名目賃金指数は 88.2（前年比 14.9%減）であった。

・きまって支給する給与（統計表 1－1 参照）

きまって支給する給与を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは電気・ガス業等で 419,955 円となり、その名目賃金指数は 102.4（前年比 4.0%減）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 115,763 円となり、その名目賃金指数は 92.2（前年と同水準）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは電気・ガス業等で 434,328 円となり、その名目賃金指数は 99.7（前年比 1.0%増）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 126,128 円となり、その名目賃金指数は 88.6（前年比 10.5%減）であった。

・特別に支払われた給与（統計表 1－1 参照）

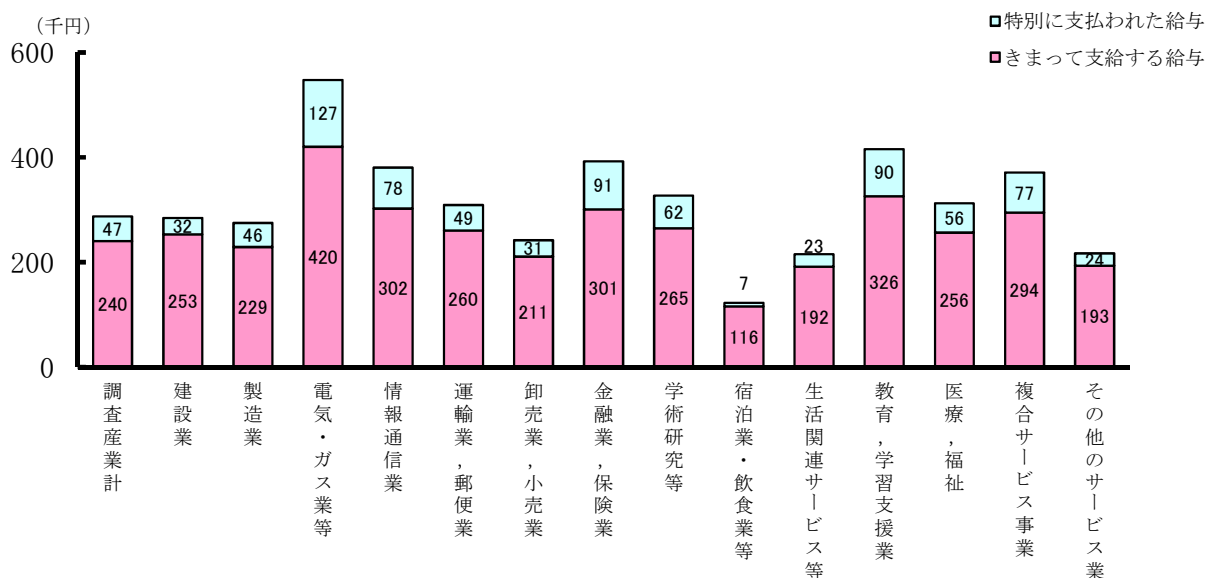
特別に支払われた給与を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは電気・ガス業等で 127,447 円（前年差 1,436 円減）となった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 6,561 円（前年差 2,258 円減）となった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 146,824 円（前年差 2,240 円増）となった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 8,390 円（前年差 8,141 円減）となった。

図 1－3 産業別 1 人平均月間現金給与（規模 5 人以上）



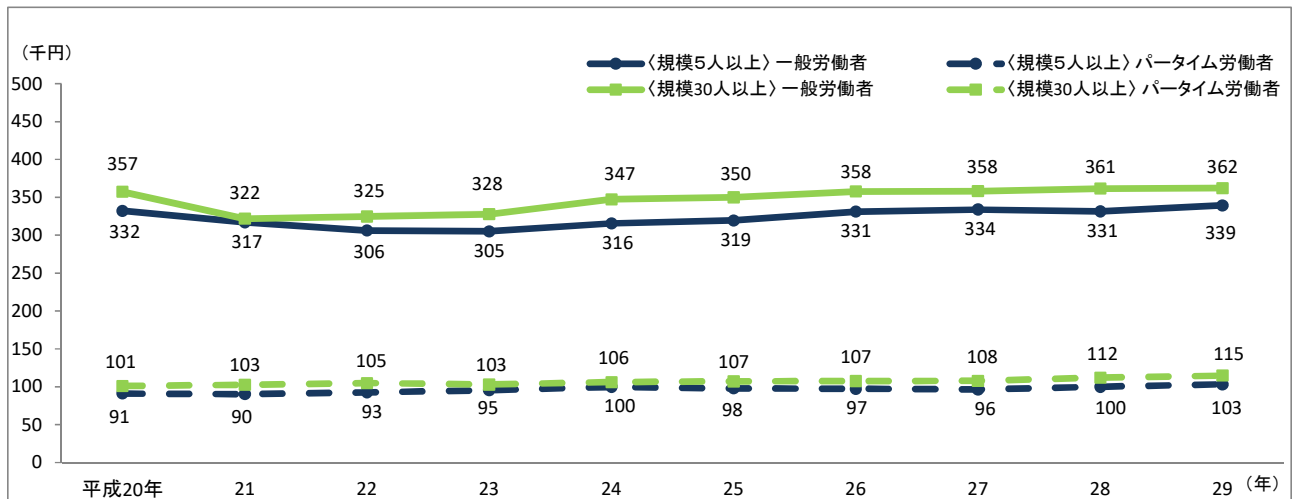
3) 就業形態別の状況

・現金給与総額（表5-1、表5-2参照）

現金給与総額を就業形態別に見ると、規模5人以上の事業所では、一般労働者で339,246円（前年比2.6%増）、パートタイム労働者で103,243円（前年比3.4%増）であった。

うち規模30人以上の事業所では、一般労働者で361,979円（前年比0.5%増）、パートタイム労働者で114,781円（前年比2.5%増）であった。

図1-4 現金給与総額の推移 —就業形態別（調査産業計）—



・きまって支給する給与（表5-1、表5-2参照）

きまって支給する給与を就業形態別に見ると、規模5人以上の事業所では、一般労働者で279,904円（前年比1.8%増）、パートタイム労働者で98,635円（前年比2.1%増）であった。

うち規模30人以上の事業所では、一般労働者で295,204円（前年比0.1%増）、パートタイム労働者で107,827円（前年比1.0%増）であった。

・パートタイム労働者の時間当たり給与（表4参照）

規模5人以上のパートタイム労働者の時間当たり給与をみると、1,021円で前年比3.0%増（うち規模30人以上は、1,054円で前年比1.1%増）となった。

II 労働時間の動き

1) 調査産業計の状況（表2参照）

規模5人以上の事業所では、1人平均月間出勤日数は19.6日（前年差0.1日減）だった。また、平均月間総実労働時間は152.4時間で、その労働時間指数は99.9（前年比0.8%増）となり、2年ぶりの増加となった。うち所定内労働時間は143.6時間で指数は99.8（前年比0.7%増）、所定外労働時間は8.8時間で、その労働時間指数は100.5（前年比1.3%増）となった。

うち規模30人以上の事業所では、1人平均月間出勤日数は19.6日（前年と同水準）だった。また、平均月間総実労働時間は154.3時間で、その労働時間指数は100.6（前年比0.4%増）となり、3年連続で増加した。うち所定内労働時間は144.6時間で、その労働時間指数は100.5（前年比0.6%増）、所定外労働時間は9.7時間で、その労働時間指数は103.4（前年比1.7%減）となった。

図2-1 労働時間指数の推移－総実労働時間（調査産業計）及び所定外労働時間（調査産業計）－

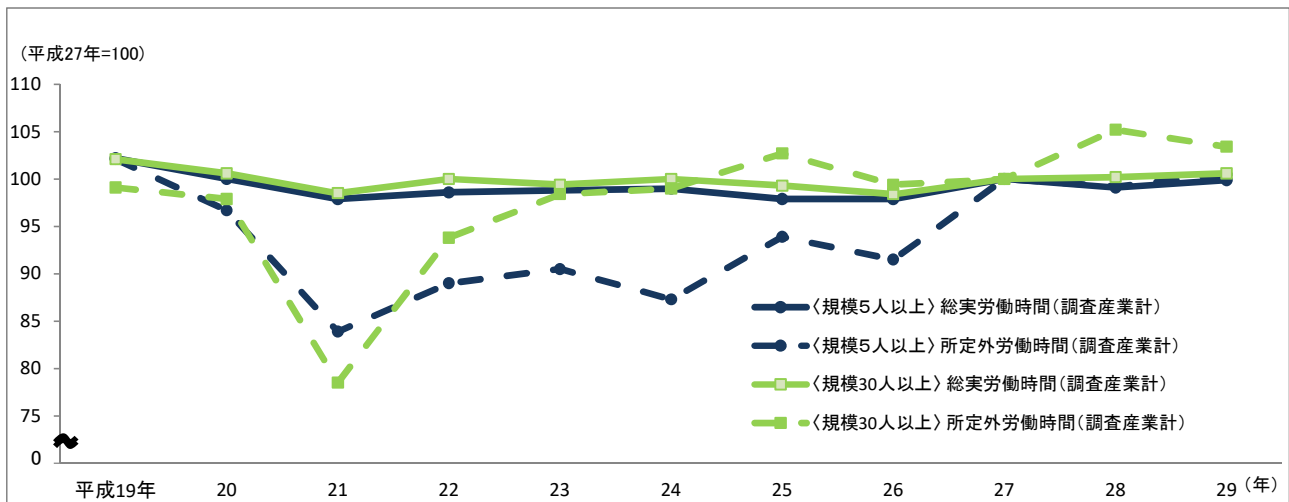
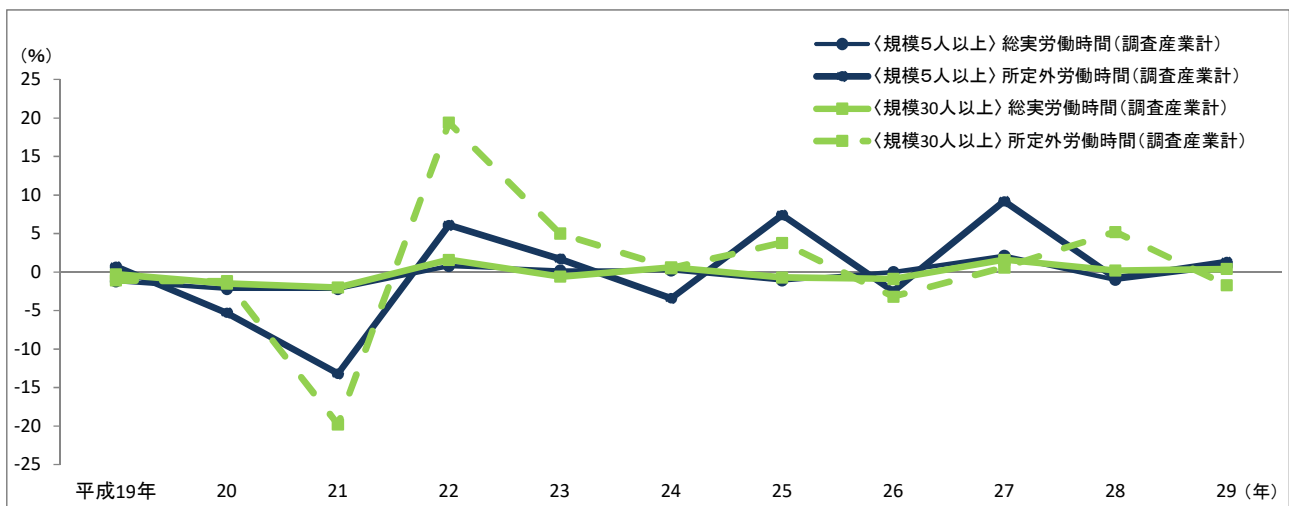


図2-2 労働時間指数の推移－総実労働時間（調査産業計）及び所定外労働時間（調査産業計）の前年増減率－



2) 産業別の状況

・出勤日数（統計表2-1参照）

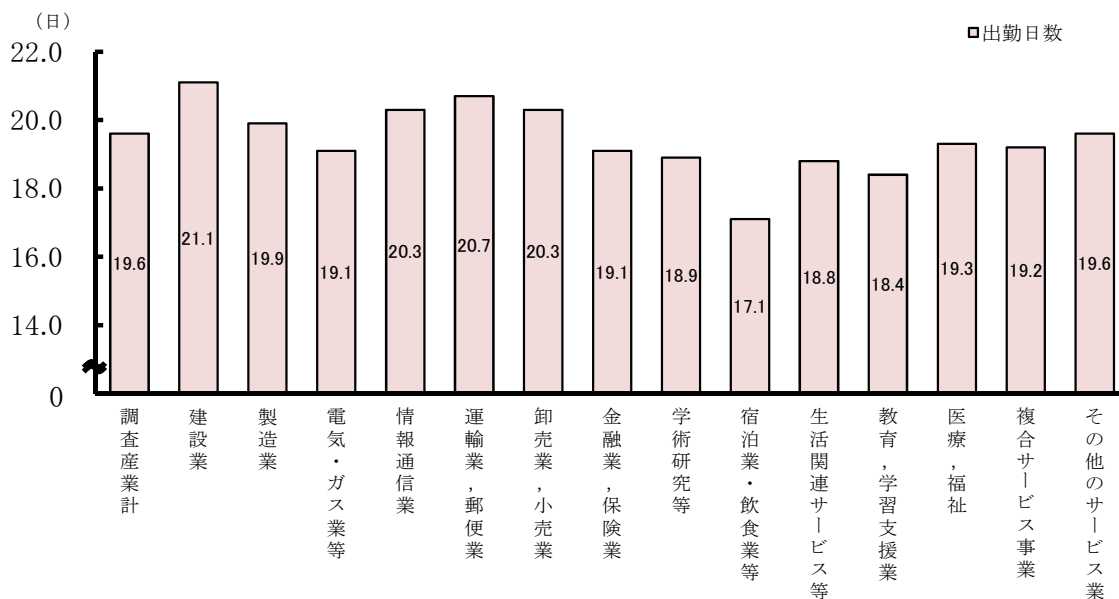
出勤日数を産業別に見ると、規模5人以上の事業所では、最も多かったのは建設業で21.1日（前年差0.1日増）となった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で17.1日（前年差0.5日増）となった。

うち規模30人以上の事業所では、最も多かったのは建設業で21.7日（前年と同水準）となった。

最も少なかったのは、生活関連サービス等で17.8日（前年差0.7日減）となった。

図 2-3 産業別 1 人平均出勤日数（規模 5 人以上）



・総実労働時間（統計表 2-1 参照）

総実労働時間を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 176.4 時間となり、その労働時間指数は 119.3（前年比 2.2%増）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 113.6 時間となり、その労働時間指数は 101.0（前年比 6.5%増）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 175.9 時間となり、その労働時間指数は 97.9（前年比 1.8%減）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 123.0 時間となり、その労働時間指数は 96.8（前年比 2.3%増）であった。

・所定内労働時間（統計表 2-1 参照）

所定内労働時間を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは建設業、運輸業、郵便業で 158.7 時間となり、その労働時間指数は建設業で 97.9（前年比 1.3%増）、運輸業、郵便業で 99.9（前年比 1.9%増）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 106.2 時間となり、その労働時間指数は 97.0（前年比 4.2%増）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは建設業で 161.7 時間となり、その労働時間指数は 103.5（前年比 0.7%増）であった。

最も少なかったのは、宿泊業・飲食業等で 114.9 時間となり、その労働時間指数は 94.5（前年比 0.3%増）であった。

・所定外労働時間（統計表 2-1 参照）

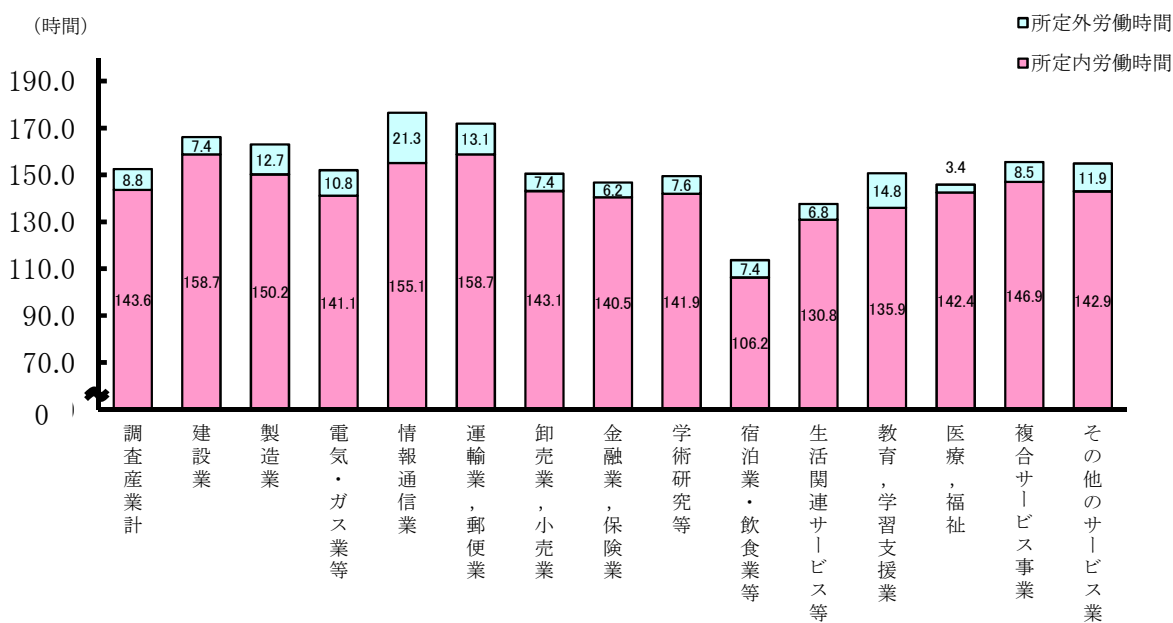
所定外労働時間を産業別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 21.3 時間となり、その労働時間指数は 219.6（前年比 47.2%増）であった。

最も少なかったのは、医療、福祉で 3.4 時間となり、その労働時間指数は 93.5（前年比 6.0%減）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、最も多かったのは情報通信業で 16.2 時間となり、その労働時間指数は 82.7（前年比 11.9%減）であった。

最も少なかったのは、医療、福祉で 4.3 時間となり、その労働時間指数は 104.1（前年比 0.1%減）であった。

図2-4 産業別1人平均労働時間（規模5人以上）



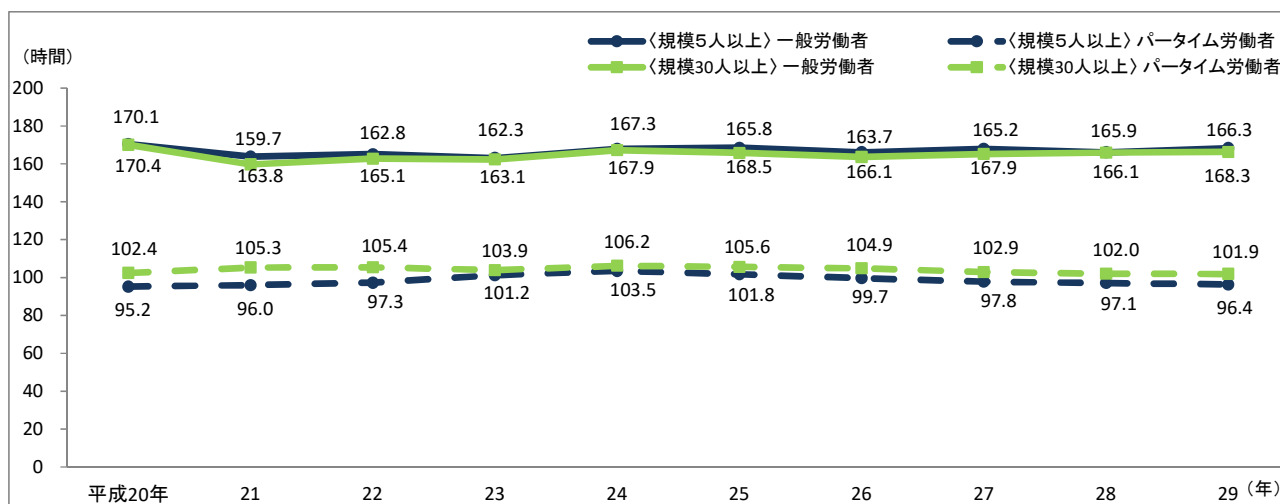
3) 就業形態別の状況

・総実労働時間（統計表5-1、統計表5-2参照）

総実労働時間を就業形態別に見ると、規模5人以上の事業所では、一般労働者で168.3時間（前年比1.3%増）、パートタイム労働者で96.4時間（前年比0.7%減）であった。

うち規模30人以上の事業所では、一般労働者で166.3時間（前年比0.3%増）、パートタイム労働者で101.9時間（前年比0.2%減）であった。

図2-5 総実労働時間の推移 —就業形態別（調査産業計）—



・所定内労働時間（統計表5-1、統計表5-2参照）

所定内労働時間を就業形態別に見ると、規模5人以上の事業所では、一般労働者で157.6時間（前年比1.2%増）、パートタイム労働者で94.2時間（前年比0.5%減）であった。

うち規模30人以上の事業所では、一般労働者で155.2時間（前年比0.4%増）、パートタイム労働者で98.4時間（前年比0.3%減）であった。

・所定外労働時間（統計表 5-1、統計表 5-2 参照）

所定外労働時間を就業形態別に見ると、規模 5 人以上の事業所では、一般労働者で 10.7 時間（前年比 2.8%増）、パートタイム労働者で 2.2 時間（前年比 7.4%減）であった。

うち規模 30 人以上の事業所では、一般労働者で 11.1 時間（前年比 2.3%減）、パートタイム労働者で 3.5 時間（前年比 3.4%増）であった。

Ⅲ 雇用の動き

1) 調査産業計の状況（表 3 参照）

規模 5 人以上の事業所では、常用労働者は 184,508 人で、その常用雇用指数は 101.4（前年比 0.9%増）となり、3 年連続で増加した。うちパートタイム労働者は 40,660 人で、常用労働者全体に占める割合は 22.1%（前年差 0.7 ポイント増）となった。

うち規模 30 人以上の事業所では、常用労働者は 92,843 人で、その常用雇用指数は 100.5（前年比 1.0%増）となり、2 年ぶりに増加した。うちパートタイム労働者は 17,269 人で、常用労働者全体に占める割合は 18.6%（前年差 0.4 ポイント減）となった。

図 3-1 常用雇用指数の推移 —就業形態別（調査産業計）—

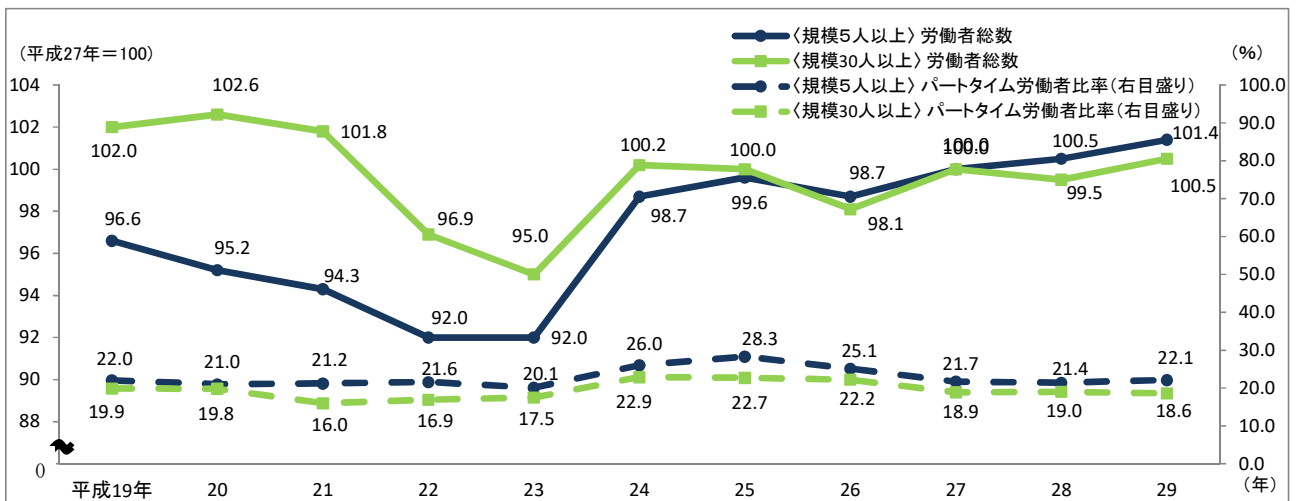
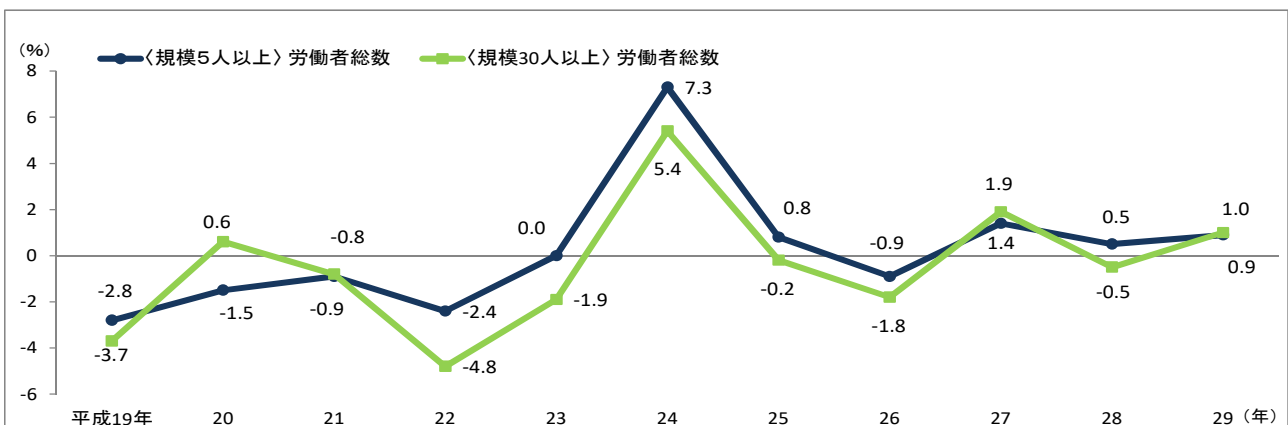


図 3-2 常用雇用指数の推移—前年増減率—



2) 産業別の状況

・常用労働者数（統計表3-1参照）

常用労働者数を産業別に見ると、規模5人以上の事業所では、最も多かったのは医療、福祉で38,869人となり、その常用雇用指数は103.3（前年比0.8%減）であった。

最も少なかったのは、電気・ガス業等で1,296人となり、その常用雇用指数は105.3（前年比4.6%増）であった。

うち規模30人以上の事業所では、最も多かったのは製造業で23,051人となり、その常用雇用指数は101.1（前年比3.1%増）であった。

最も少なかったのは、情報通信業で841人となり、その常用雇用指数は101.7（前年比2.1%増）であった。

・パートタイム労働者数（統計表3-1参照）

パートタイム労働者数を産業別に見ると、規模5人以上の事業所では、最も多かったのは卸売業、小売業で10,598人（前年比8.6%増）となった。

最も少なかったのは、電気・ガス業等で47人（前年比11.9%増）となった。

うち規模30人以上の事業所では、最も多かったのは医療、福祉で4,007人（前年比5.0%増）となった。

最も少なかったのは、情報通信業で16人（前年比45.5%増）となった。

（注）パートタイム労働者数の前年比は、実数により算出している。

図3-3 産業別労働者数（規模5人以上）

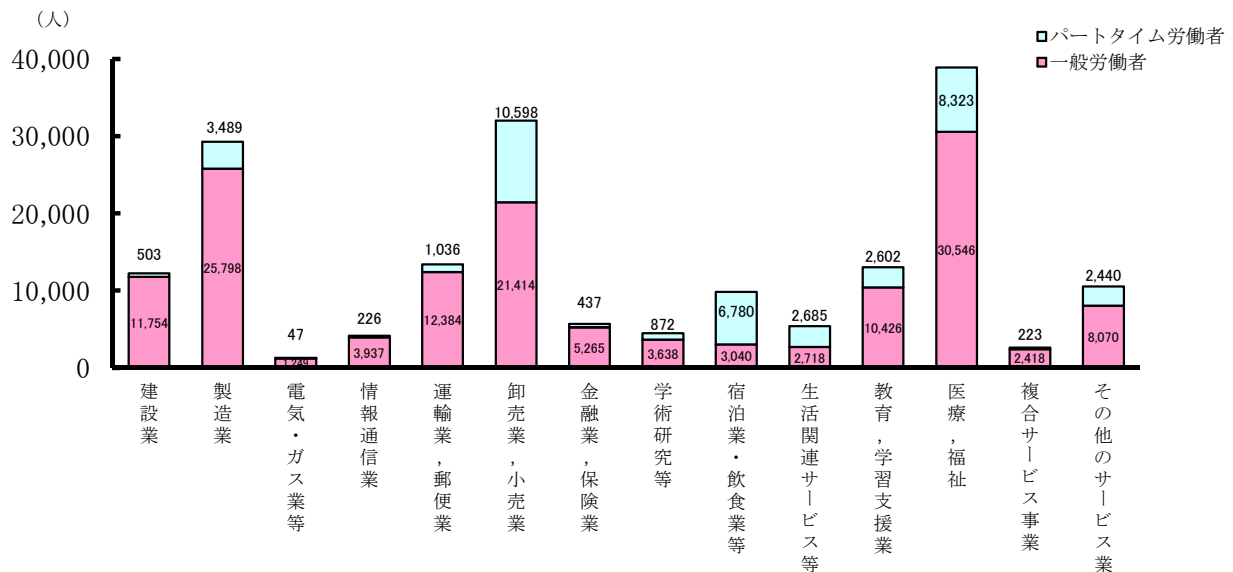
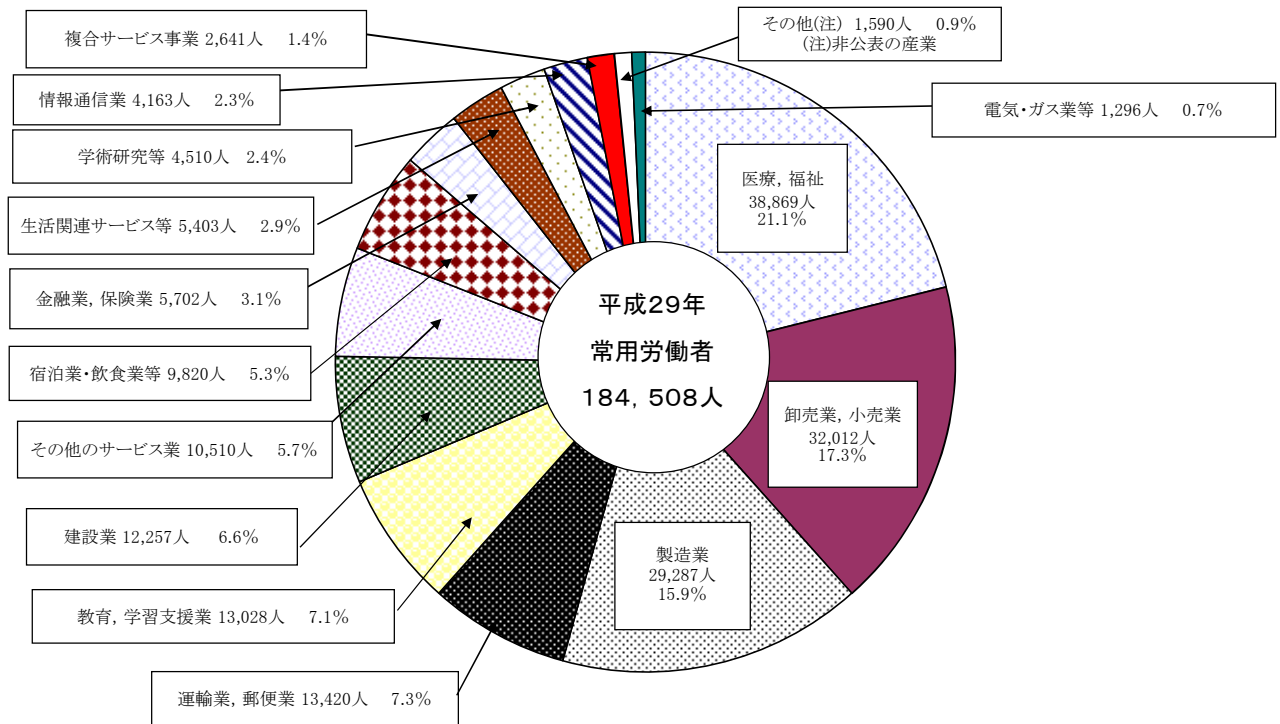


図3-4 産業別常用労働者構成比率（規模5人以上）



・パートタイム労働者比率（統計表3-1参照）

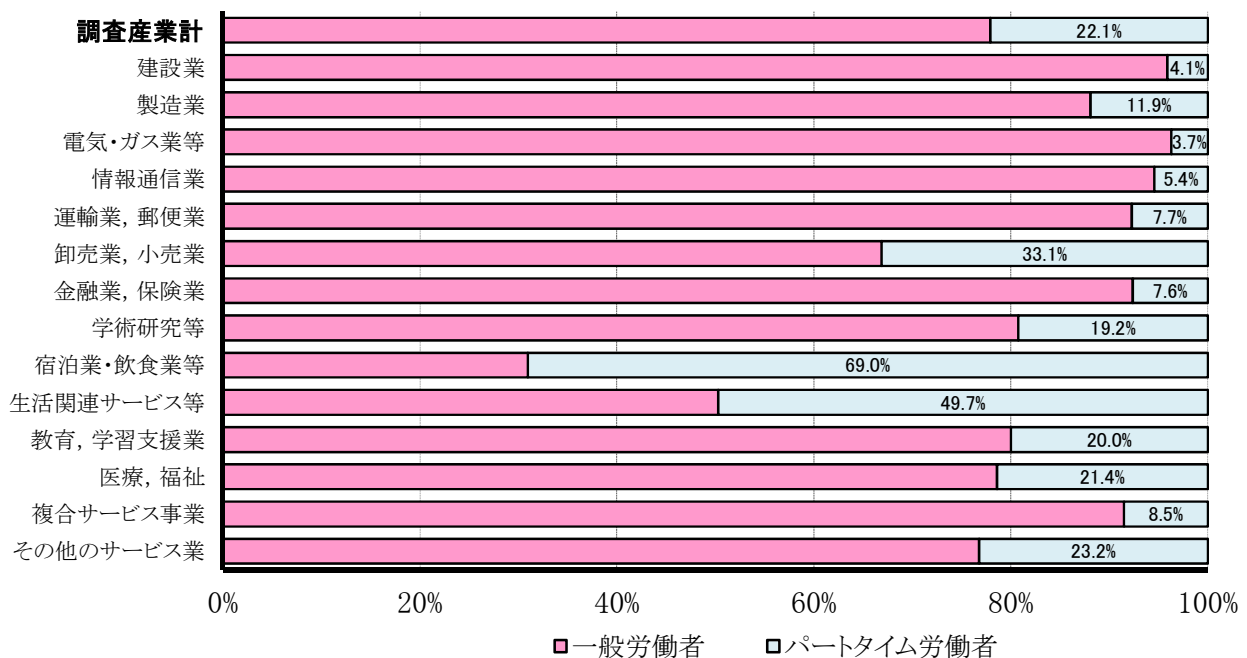
パートタイム労働者数が常用労働者数に占める比率を産業別に見ると、規模5人以上の事業所では、最も高かったのは宿泊業・飲食業等で69.0%（前年差2.8ポイント減）となった。

最も少なかったのは、電気・ガス業等で3.7%（前年差0.3ポイント増）となった。

うち規模30人以上の事業所では、最も高かったのは宿泊業・飲食業等で65.6%（前年差2.6ポイント増）となった。

最も少なかったのは、情報通信業で2.0%（前年差0.6ポイント増）となった。

図3-5 産業別パートタイム労働者比率（規模5人以上）



（注）端数処理の関係で100%にならない場合がある。